

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点④〉

三郷学の視点

3 今を知る(地域特性を知る)

これまで、埼玉県といえば、岩槻の人形、狭山茶、草加せんべい、深谷のネギ、加須の鯉のぼり、越谷のだるまなどが有名でした。最近では、そこに深谷市の「ガリガリ君」アイスキャンディとさいたま市にある「鉄道博物館」が新しく仲間入りしたそうです。

小学校の教科書や「埼玉郷土かるた」などに三郷市のモノやコトが今後、仲間入りし、埼玉県といえば、「日本一の読書のまち三郷」

と言われるくらい有名な取り組みとなっていくことが期待されます。三郷市にある資源(人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化など)を掘り起こし、磨きあげ、これからの三郷市を築いていくのは、私たち市民自身です。三郷の個性ある資源を生かした私たちの日々の積み重ねが三郷の新たな資源をつくり、三郷をより魅力あるまちにしていきます。



彦糸の蛇祭り



「日本一の読書のまち三郷」
読書フェスティバル